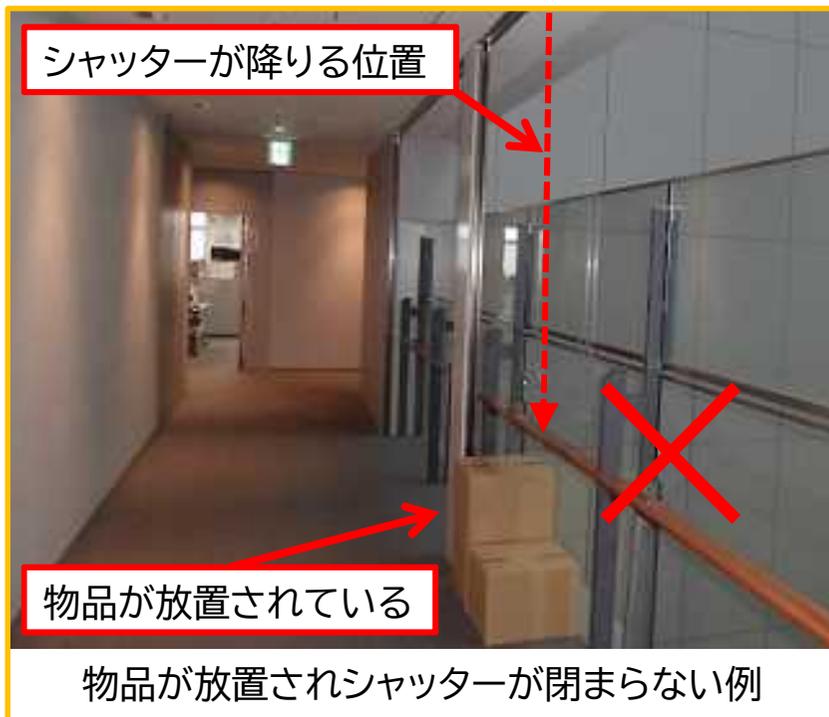


できていますか？適切な維持管理
～防火設備の日常点検～

1. 防火シャッター

○熱や煙を感知して自動で閉まり、火災時の被害拡大を防止するためのシャッターです。
(手動閉鎖装置がついたものもあります。)

シャッターの下にダンボール箱などがあるとシャッターがきちんと閉まらず、隙間から炎や煙がまわり込み危険です。



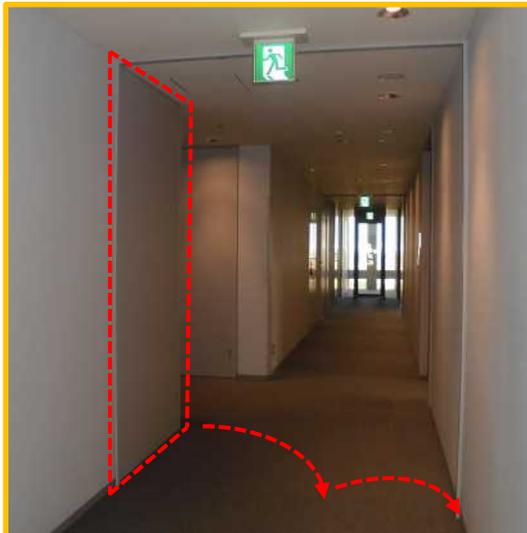
～維持管理上のポイント～

- ・ 日常点検の中で、シャッター下部に荷物等の閉鎖の障害物が置かれていないか確認を行う。
- ・ 従業員に対してシャッターの位置、シャッター下部に荷物等の閉鎖の障害物を置かないことの周知を行う。

2. 防火扉(随時閉鎖型)

○火災時に熱や煙を感知して自動で閉まり、火災時の被害拡大を防止するための防火扉(随時閉鎖型)です。

防火扉の閉鎖部分にダンボール箱などがあると防火扉がきちんと閉まらず、隙間から炎や煙がまわり込み危険です。



防火扉の閉まる軌跡



物品が放置され
防火扉が閉まらない例



防火扉がきちんと閉まる例

～維持管理上のポイント～

- ・ 日常点検の中で、防火扉部分の閉まる途中に、荷物等の閉鎖の障害物が置かれていないか確認を行う。
- ・ 従業員に対して防火扉の位置、防火扉部分に、荷物等の閉鎖の障害物を置かないことの周知を行う。

3. 防火扉(常時閉鎖型)

○平常時から閉じていて、火災時の被害拡大を防止するための防火扉(常時閉鎖型)です。

本来であれば、常に閉まった状態となるべき防火扉がストッパーなどで開いた状態に固定されていると、火災時に開いた防火扉から炎や煙がまわり込み危険です。



ドアストッパーにより防火扉が閉まらない例



防火扉がきちんと閉まる例

～維持管理上のポイント～

- ・ 日常点検の中で、防火扉をドアストッパーや紐などで固定していないか確認を行う。
- ・ 従業員に対して防火扉の位置、防火扉を開けたまま固定しないよう周知を行う。